

サンマテラークラウドウォール・パステルプラスター
超耐久性ハイブリッドシリケート水性塗料

施工要領書

サンキ化工株式会社

製品概要

サンマテラークラウドウォール・パステルプラスターはシリケートをハイブリッド化させた超耐久性水性塗料です。

不燃認定も取得していますので内外装として使用できます。

分子架橋の結合力が高い為、紫外線劣化への抵抗が強く、新設、既設のコンクリートの上に塗装することでコンクリートの中性を低減しマットで艶のない漆喰調パステルカラー（全 26 色）の意匠的な壁面を現出します。

以下略：サンマテラークラウドウォール→SCW

特長

1. 優れた防カビ性、防汚性

SCW パステルプラスターの塗膜は、無機で表面に帯電性がなく大気中の塵を寄せ付けません。また遮水性があり、カビ菌類や汚れ等が付着しても降雨時に流れ落ちます。長期間に渡り美観を保持します。

特に開口部面台やパラペット下に着きやすい汚垂れ等も有機質塗料と比較すると優位です。

2. 超耐久性

ハイブリッド化されたシリケートの分子架橋エネルギーは紫外線エネルギーよりも高い為、紫外線劣化が進みません。UVC 試験ではフッ素よりの遥かに耐紫外線劣化が少ないことが確認されています。

3. 高い密着性

ノンプライマーで広範な下地に直接塗ることが出来て十分な付着強度を保ちます。鉄部などにも高い密着性があります。

4. 高い通気性

塗膜の透湿抵抗が低い為、大きな気温差による結露や湿度の高い環境下でもコンクリート表層部の湿気を滞留させず通気させます。従って、フクレや剥がれ等の下地側水分に起因する問題に対して有機質塗料（樹脂塗膜）と比較して優位です。

5. 超速乾性

SCW パステルプラスターは速乾性です。1 回目塗布後、速やかに乾燥が始まります。2 回目塗布も 30 分～2 時間で作業に掛かれますので（※気温、湿度によりバラツキあり）作業効率が向上します。またローラーのラップムラが出にくいのも特徴です。

6. コンクリートの中性化低減

優れた密着性、高耐久性、通気性等、塗膜が超期間に渡りコンクリートを保護しますので中性化の進行を低減させます。

7. 環境に優しい 100%無機質塗料

SCW パステルプラスターは完全無機の水性塗料であり揮発成分がない環境に優しい塗料です。

8. 不燃性

不燃材料認定 NM-5539

9. ホルムアルデヒドを一切含有していません。

10. 意匠性

通常はローラー施工でプレーンでマットな仕上がりですが、ローラーとラバーベラの併用でより左官漆喰調の肌触り仕上がりになります。また黒漆喰の表現が可能です。

更に下塗りを砂骨ローラーで仕上げ上塗りを別の色でローラー、ラバーベラの施工で下の色が浮き出てくるようなイタリアンスタッコのようなテクスチャーも表現可能です。

11. SCW パステルプラスターは既存の漆喰の上から施工が可能であり漆喰そのものの雰囲気再現できます。

用途

新設コンクリートの化粧保護

既設コンクリートのリノベーション

PC 板 アスロック

既存漆喰のリコート

既存塗料への再塗

プラスターボード、フレキシブルボード

施工基準

塗布可能な素地

新旧コンクリート、モルタル、既存塗料塗膜、フレキシブルボード、押出成形セメント板、プレキャストコンクリート、土蔵漆喰、プラスターボード（総パテ処理）等

施工前の確認事項

- コンクリート面のジャンカ、目違い、ピンホール、ひび割れ等は事前に補修をしてください。
- 下地の凹凸なりに仕上がりますので綺麗な仕上がり感を求める場合、面単位で不陸調整補修を行ってください。
- 下地を酸洗いした場合、必ず中和処理を行ってください。弊社ではアクアクリナー（シリケート系アルカリ洗浄剤）をご用意しています。
- 汚れ、エフロ、レイトンス等は高圧洗浄等で除去してください。
- 既存の塗料塗膜をリノベーションする場合、浮き・ハガレ・ひび割れ等のある個所は除去し補修を行ってください。補修後の凹凸はなるべくないように不陸調整してください。
- ALC やブロック、ケイカル板等、吸込みが大きい下地は吸込み防止の為にメーカー指定プライマーやフィラー材 等の処理を行ってください。
- 内装のプラスターボード面に施工する場合、ペンキ下地同等の下地処理を行ってください。※市販の樹脂パテ材に弊社の液体黒顔料を添加してください。仕上がり発色を良くするために必要です。
- 施工前後における降雨予報に注意をはらってください。
- 4℃以下の状況では施工をしないでください。

推奨下地プライマー

既設、新設のコンクリートのひび割れ低減の性能を有する弊社サンマテラーアクア（既設コンクリート用）及びサンマテラーアクアバンク（新設コンクリート用）を予め塗布しておくことをお勧め致します。

サンマテラーアクア、サンマテラーアクアバンクは、塗布後、速やかにコンクリートに含浸し、未水和状態のセメント成分と長期に渡り反応しながらひび割れ進行の要因となる毛細管空隙を C-S-H ゲルで充填していきます。

ひび割れから生じる漏水を止水する効果もあります。

また、薄塗ポリマーセメントや補修モルタルの付着性を高めるプライマー効果もありますので積極的にご活用ください。

土蔵漆喰やセメント系仕上げ材にはサンマテラーアクアを先に 2 回塗布してください。漆喰やセメントなどの成分はサンマテラーアクアを塗布することで安定します

準備

SCW パステルプラスター16kg をハンドミキサーで攪拌します。基本的に無希釈仕様です。希釈すると色が変わってしまいます。

施工

プライマー

サンマテラーアクアをローラー、噴霧器等で塗布してください。

塗布回数 2 回

平均塗布量 200cc/m²

注意：気温が 4℃以下の状況では材料が凍結する恐れがありますので使用しないでください。

下塗り

SCW パステルプラスター1 回目塗布（使用工具：中短毛ローラー）

均一にネタ配りしてください。（※バケットで良くローラーのネタ切れを行い一度に大量のネタが付かないようにしてください。また、ローラーは縦、横に転

がしてラップムラが出ないようにしてください。)

2 回目おなじく中短毛ローラーにて塗付けして下地が完全に隠蔽されたことを確認してください。

平均塗布量 0.15kg/m^2

上塗り

食指乾燥 (20~30 分後) の状態で、SCW パステルプラスター2 回目塗布 (使用工具: 中短毛ローラー)。均一にネタ配りしてください。(※バケットで良くローラーのネタ切れを行い一度に大量のネタが付かないようにしてください。また、ローラーは縦、横に転がしてラップムラが出ないようにしてください。)

平均塗布量 0.1kg/m^2

リコート材として使用する場合、リシンかき落とし、窯業系吹付 等の凹凸のある下地の場合、塗布量は大きくなります。

塗布量参考目安

通常のコンクリート下地: $70\sim 80\text{ m}^2/\text{缶}$

凹凸のある既存塗装材の下地: $35\sim 40\text{ m}^2/\text{缶}$

雨に当たらないように 6 時間以上養生してください。

養生撤去

【漆喰調パターン】

下塗りまでは同じ工程です。

平均塗布量 0.15kg/m^2

上塗り

食指乾燥 (20~30 分後) の状態で、SCW パステルプラスター2 回目塗布 (使用工具: 中短毛ローラー)。均一にネタ配りしてください。(※バケットで良くローラーのネタ切れを行い一度に大量のネタが付かないようにしてください。また、ローラーは縦、横に転がしてラップムラが出ないようにしてください。)
追っかけでラバーベラのへさきから腹部分を使ってランダムに均してください。均し擦りすると漆喰のような肌ざわりとなります。

平均塗布量 0.1kg/m^2



【イタリアンスタッコ調パターン※複色仕上げ】

下塗りまでは同じ工程です。

平均塗布量 0.15kg/m²

中塗り

砂骨ローラーで自分の顔の大きさ程度の楕円形の 1/4 を描くようにランダム () に塗付けてください。ウロコパターンのような一定のラインにならないように気をつけてください。

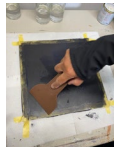
平均塗布量 0.05kg/m²

上塗り

食指乾燥 (20～30 分後) の状態で、SCW パステルプラスター2 回目塗布 (使用工具：中短毛ローラー)。均一にネタ配りしてください。(※バケットで良くローラーのネタ切れを行い一度に大量のネタが付かないようにしてください。また、ローラーは縦、横に転がしてラップムラが出ないようにしてください。)

追っかけでラバーベラのへさきから腹部分を使ってランダムに均してください。均し擦りすると漆喰のような肌ざわりとなります。

平均塗布量 0.1kg/m²



荷姿

※コンクリート改質プライマーとしてのサンマテラーアクア、サンマテラーアクアバンクはオプション品です。

サンマテラーアクア 18L 缶 4L 缶

サンマテラーアクアバンク 18L 缶 4L 缶

サンマテラークラウドウォール・パステルプラスター 16kg 缶

注意事項

- ・古い硬いネタと封を切った新しいネタを一緒に混ぜて使用しないでください。
- ・ネタへの水希釈量を途中から大きく変えると発色ムラとなる場合がありますので注意してください。
- ・バケットで良くローラーのネタ均しをしてください。
- ・通常のローラーパターン以外の漆喰調パターン、イタリアン漆喰調パターン

の上塗パターン付けは必ず 2 人 1 組で作業を進めてください。1 人はローラーによるネタ配り、その後からほぼ追っかけて 1 人がラバーベラによる均しパターン付けを行います。超速乾タイプですのでネタ配りしてパターン付けの間隔は極めて大事になります。また目地から目地、一面を一気に仕上げてください。塗り継ぎは厳禁です。

・水を含んだローラー、ハケでの施工は厳禁です。必ずドライな新品のローラーを使用してください。

保管

使用後はネタが乾燥しないように蓋をしっかりと閉めてラップし温度変化の少ない日陰で保管してください。

また水が凍結するような気温の場所では保管しないでください。

使用工具や缶、バケツに付着したネタを洗う場合、洗った汚水を河川や下水道に直接流さないでください。

皮膚等に着いた場合、石鹼等で良く洗い流してください。